

はまなす通信

Rosa rugosa Mail

勤医協福祉会

〒003-0804 札幌市白石区
菊水4条1丁目8番6号
TEL011-811-8002

2023年冬号（通算第14号）
発行責任者 松本 宜子

社会福祉法人

勤医協福祉会だより

2023 冬号



2024年度介護報酬改定のポイントについて

12月20日、2024年度政府予算案策定に向けた財務大臣・厚労省の大臣折衝が行われ、2024年度介護報酬の改定率を+1.59%と決定しました。

3%増となった2009年度改定に次ぐ、制度施行後2番目の引き上げ率となりました。人手不足やコロナ感染症拡大、物価高騰等による様々な困難が広がる中、介護報酬の底上げを粘り強く求めてきた広範な世論を反映したものです。

今回の報酬改定は、6年に一度の医療・介護・障害福祉サービスの同時改定となっています。このような機会では、各制度間の調整が大きく行われる重要な改定であり、これから想定される人口減、生産年齢人口（15歳～64歳）減の中で高齢者人口がピークになる2040年を見据えた改定になっています。

今回は、そのポイントについて、お伝えします。

① 医療ニーズが高い方や看取りへの対応を強化

入院医療から在宅医療、在宅介護にシフトしていく中で、医療・介護の情報連携や利用者の状態に応じた専門職の配置など医療と介護の連携をより一層推進する

② 自立支援・重度化防止
在宅介護、介護施設でのリハビリテーション・口腔・栄養の一体的取組を一層推進する

③ 処遇改善
介護を担う人材の不足や将来の担い手減少の中で、更なる介護サービスの質の向上を図るため、賃上げ（処遇改善の充実）等を通じた介護人材の確保

④ 給付と負担の見直し
多床室の室料負担の見直しは、老健施設の療養型、介護医療院の「Ⅱ型」を対象に、新たに室料負担（月額8000円相当）が導入されます。また、「高所得」高齢者の保険料の引き上げは、現行9段階（国標準）以降を多段階化し、年収420万円以上の保険料を引き上げる方針が示されています。

⑤ 引き続き検討されている内容
・利用料2割負担の対象拡大
・ケアプラン有料化（利用者負担）
・要介護1、2の生活援助等の総合事業への移行

要介護高齢者の尊い命、暮らしを支える介護従事者の処遇改善、人材確保には、まだまだ不十分です。介護従事者の処遇改善、人材確保を国の責任で更に進めていく事、新たな利用者負担増を許さない声を引き続き広げていきましょう。皆さんどうぞご協力よろしくお願いいたします。



ご存知ですか？ 勤医協福祉会で利用できる 2つの減免制度

勤医協福祉会では「社会福祉法人利用者負担減額制度」の利用が可能の他、法人独自で行っている減免制度があります！詳しくは、最寄りの在宅総合センターか、法人本部まで。

「住み慣れた自宅で最期まで過ごしたい」とご自宅での看取りが増えていきます。石川さん(仮名)は、乳がんの末期で入院していましたが、「ご本人とご家族の強い希望で」ご自宅への退院を決めました。そのときは、「コロナ禍の真っ最中で、病院への面会ができず自宅退院を決めた理由でした。病院とのカンファレンスができません、状況を電話で聞いて退院日に訪問看護で訪問するにしました。」

退院当日、無事に石川さんは自宅に帰ってきました。ご家族も久しぶりに会えて喜んでいましたが、反面かなりやせていて尿の管がはいり、車椅子で介助状態となっており、とてもショックを受けているような状況でした。私は家に帰ってくることでできたことを一緒に喜びあい、いろいろな感情が混在していることを考慮し、まずは今晚を無事に過ごせるように、尿の管をひっかけないように注意すること、また移動の仕方などを伝え、何かあった時には訪問看護の緊急時の待機携帯電話に連絡してもらおうように、と対応しました。落ち着くまでは毎日訪問をするにこし、翌日訪問時には無事に一晩過ごせたことを喜び、心配だったことや困ったことをお聞きしそこに合わせて対応しました。徐々に「ご本人もご家族もご自宅での生活に慣れてきて、ご主人がお風呂にいられてくれたりご家族で外出することもできるようになりました。もともと好きだったお酒も少量でしたが、ご家族と楽しまれ、看護師にも冗談を言うなど、石川さんらしく過ごされていきました。病気が進行する中、訪問看護でサポートしながら最期まで石川さんは「自宅で」ご家族と過ごすことができました。

現在、当法人には2名の緩和ケア認定看護師がいます。緩和ケアの対象は、利用者だけではなくそのご家族も対象です。苦痛が少なく穏やかに過ごしていただけるように、痛みなどの身体的な苦痛に対してのケアはもちろん、ご家族に対してもどこに苦痛があるのかをアセスメントしケアを提供しています。今後チームで質の高いケアを提供できるように取り組んでいきたいと考えています。

【緩和ケア認定看護師の紹介】



勤医協札幌ひがし
訪問看護ステーション
しのろサブステーション
TEL:011-774-1298
管理者 室田 ちひろ



勤医協きくすい訪問看護
ステーション
TEL:011-820-1262
小川 美和

● 2023 年度実践事例報告集の取り組み

【学びあう事を大事に】

2023年12月16日(土)に勤医協福祉会の定例行事である実践事例報告集会をオンラインで開催しました。集会テーマは、「地域共生社会の中で共に歩む私たちの目指すケアをみんなで作ろう」とし、参加者は約128名、分科会は27演題の実践報告がありました。

全体会では、(有)ユアホームサービスの鈴木令子氏による特別講演があり、「この人も安心した生活と豊かな時間を作りだせるために」と人と関わるぬくもりから」として、ぼくら保育園の成り立ちや民医連の福祉(保育)の役割、保育から障がい者・児の支援に関わる中での実践例、共生出来る地域づくりの大切さなど、地域と共生していく重要性についてお話いただきました。参加者からは、「保育、福祉の理念を歴史から学べて、この様な深い考えで発展してきたのだと初めて知り、素晴らしいと思った。」「講演会は貴重な経験になりました。保育と介護とも共通する部分があり、相手に寄り添い心と心は繋がっているというところが共感した。」「公的サービスの隙間を埋めることが、毎日の生活を送る上でとても大切という言葉が印象的でした。」等の感想が寄せられました。

分科会は、4つの人権(平等権、自由権、社会権、その他の権利)をテーマに行い、各センターでの取り組み事例が報告されました。様々な困難な事例があつても事業所やセンター、地域と連携をしながら、利用者家族に寄り添い日々の実践が行われている事が感じられる事例ばかりで1年間の実践を学びあう集会となりました。

テレビ会議システム ZOOM を
使用して道内の全事業所が
つながり学びました



寄付金ご協力をお願い

＜お申込み・お問い合わせ＞

寄付申し込書をご記入のうえ、お近くの当法人の事業所へご持参ください。また、振込用紙もご用意しています。詳しくは当法人の事業所へお問い合わせ下さい。

勤医協福祉会で一緒に働きませんか？
介護職・看護師・ケアマネジャー
リハビリ職・保育士・事務職
ご応募ご紹介お待ちしております。

【人事共育部】
電話番号(011)817-2773